



第8期 株主通信

第2四半期

2022年1月1日~6月30日

BUSINESS REPORT



目次

P3	株主のみなさまへ
P4	第2四半期の事業概要
P6	今期の事業戦略
P8	注目企業のトップインタビュー
P10	連結業績ハイライト
P12	連結財務諸表
P14	会社情報/株主メモ

お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップのサービスをご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社日本創発グループ 第8期第2四半期(2022年1月1日~2022年6月30日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間では、新型コロナウイルスの変異株による感染拡大により、消費行動が抑制されるまん延防止等重点措置が36都道府県に発出されました。また、急激な円安による金融市場の変動や、資源・エネルギー高による紙やインクなどを含めた原材料価格の上昇など、インフレの消費への影響が懸念されております。一方で、感染症拡大防止への取り組みや、3回目のワクチン接種が進み、イベントの開催が再開されるなど、企業活動は回復しつつあり、コロナ禍での新しい社会生活に即したサービスや販促ツール・サービスの需要が増加いたしました。当社企業グループは、事業環境の変化や事業戦略に基づき、将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。企画提案・製造・制作から配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高293億99百万円(前年同期比10.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億73百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。そのためにも、クリエイティブサービス事業を中心としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく、一段と努力してまいります。

みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2022年8月

代表取締役社長 藤田 一郎

第2四半期の事業概要

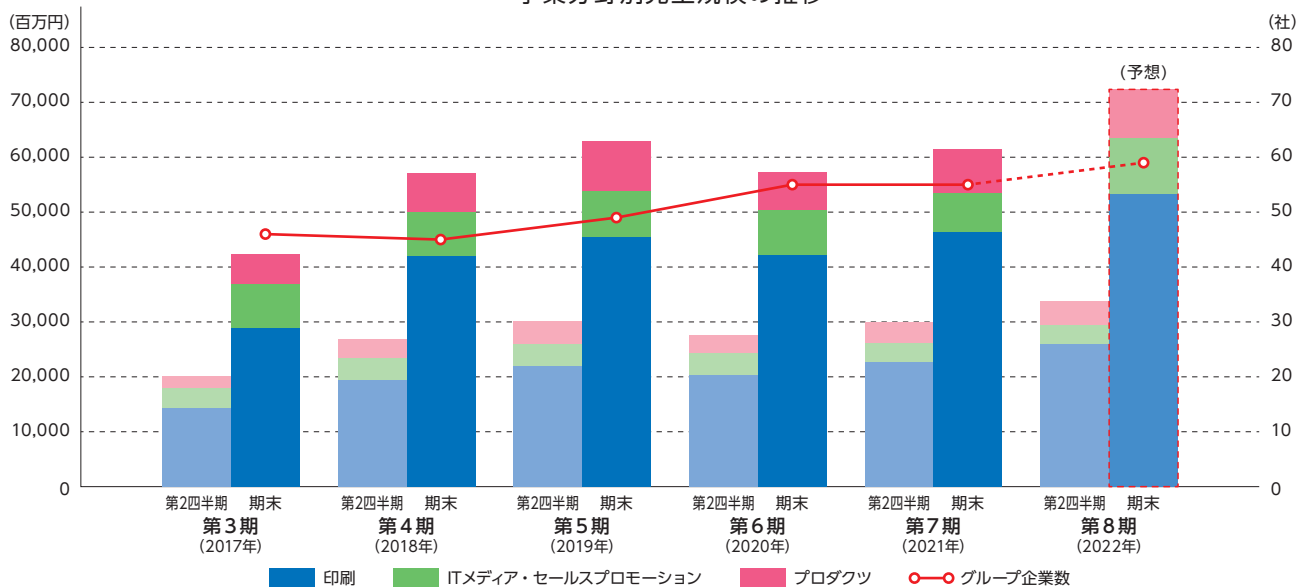
ニューノーマル時代に、新たな価値を創造

2022年は、日本創発グループが設立されて8期目となります。ここ数年は新型コロナウイルス拡大によって、経済的・社会的にも不安の影を落としていましたが、少しずつ回復の兆しが見えてきました。そのような中、お客さまからのご要望が多いITメディア・セールスプロモーション事業については、シナジーを活かした実績が増えています。当社企業グループの強みである印刷関連事業と、多様化したメディアに対応するメディア関連事業が協業を進めることで、企画提案から制作、効果測定、運用改善コンサルティングまで、トータルでサポートできるようになりました。

売上規模の多くを占める印刷関連事業は、経済活動の復活に

伴って少しずつコロナ禍以前の活気を取り戻しつつあります。日本における印刷関連マーケットの規模は、年々減少傾向にありますが、付加価値の高い印刷技術を活用した印刷物の需要は安定しています。また、プロダクツ事業においては、新しい社会生活に合わせた商品の提供をスタートすることができました。当社企業グループの株式会社funboxが提供するガチャガチャ(カプセルトイ)や、株式会社メディコス・エンタテインメントが販売するフィギュアも、人との接触を回避しながら楽しめるレジャーアイテムとしてご好評いただいています。今後も社会の変化に対応した新しい価値を創造してまいります。

事業分野別売上規模の推移



※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

モノづくり + コト起こし ⇒ 想いを伝える

2022年1月には兵庫県西宮市の総合印刷会社である株式会社小西印刷所を、4月にはクリエイティブ制作を行う株式会社ダイヤモンドヘッドを、モデルマネジメント・イベントの企画運営を行う株式会社パークインスタイルを、7月には株式会社ワン・パブリッシングの出資比率を高め連結子会社としました。さらに、当社の連結子会社だった株式会社サカモトと株式会社あみューズは4月1日に合併し、社名を株式会社funboxに変更しています。

当社企業グループの連結子会社は32社となり、グループの強みであったモノづくりをさらに加速させ、印刷・WEB・プロダクツと幅広い制作物をご提供できるようになりました。またクリエイティブ

コンテンツを製造・制作するだけでなく、ITメディア・セールスプロモーション事業と連携することで、イベントの企画からSNS・WEB・インフルエンサーを活用したオンラインプロモーション、紙・デジタルの出版物までさまざまなメディアと組み合わせた幅広いセールスプロモーションのご提案が可能になりました。

グループの理念に基づく想いを込めたモノづくり領域の強化はもちろんのこと、個性豊かな当社企業グループ会社での連携をはかってまいります。モノづくりから、コトを起こし、想いを伝えるまで、すべての工程をハイクオリティでご提供することができる、ユニークな日本創発グループの力をさらに強化してまいります。

グループ協業事例

ONE PUBLISHING
×
BARK IN STYLE



ワン・パブリッシング制作のPCメーカーのプロモーションムービーでは、パークインスタイル所属のモデルが出演しています。

Lithmatic
×
CAD CENTER



「販促EXPO2022春」のオンライン展示ブースでは、キャドセンターが3D技術を駆使したバーチャル空間をプロデュース・制作しています。

Going Beyond Conventional Thinking
popal
株式会社ポパル
×
SONIC JAM



日本国際切手展において郵便の未来の可能性を広げるためのコンテンツ「VOICE はがき」を取り入れたブースを構築。ポパルとソニックジャムの協業。

今期の事業戦略

グループの専門性を活かした事業連携の強化を

高騰する水道光熱費や、原材料調達コストの上昇への対応は、当社企業グループにおいてとても重要な課題です。グループ各社で厳密なコントロールを行い、環境負荷の軽減にもつなげてまいります。

印刷関連事業に比べコスト面での影響が緩やかなのはITメディア・セールスプロモーション事業です。東京都港区にあるXR制作空間「SHIBA studio」は、プロフェッショナルアーティストのプロモーションビデオ撮影や動画配信など幅広い用途でクライアントさまにご活用いただいています。リアルイベントが増えつつある時期ではありますが、今後もデジタル配信に

関わるITメディア分野は成長を続けると考えております。

また創発グループ独自のブランドスタジオの設立も予定しています。この日本創発型の「BRAND STUDIO構想」とは、ブランディングコンテンツの制作だけでなく、グループ全体のソリューションを活用し、顧客に対してリアルとデジタルを合わせた施策を提供いたします。これにより、専門各社へ個別に依頼していたイベント運営、マーケティング、広告、ブランディング、プロダクツ制作をワンストップで提供することが可能となります。グループの専門性を高め、グループ内での連携を強化させることで、お客さまの事業を共に加速させるブランドスタジオを実現します。

BRAND STUDIO構想

ブランドスタジオとは、媒体社が広告主に対してマーケティング支援のコンテンツ制作を行う専門チームの呼称。一般的には、メディア企業がクライアントに対し、ロゴや企業サイトなどを作るのがそのメインソリューションでした。しかし日本創発型のブランドスタジオは、コンテンツ制作を超え、マーケティングの設計やプロモーション全体を担うことを目標としています。



日本創発グループ
連携による
価値の体系化

■企画から実行まで、日本創発グループが全体をカバー



多様性の価値を創造する、日本創発グループのSDGs

当社企業グループには、専門性の高い個性豊かな企業が参画しています。それぞれの企業がユニークな発想でアイデアを持ち寄り、SDGsに取り組むことで社会全体に新たな価値を提供できると信じています。SDGsは、子どもたちが未来を生きるためにも、現代で達成すべき課題です。2030年に向けて特定の企業だけが達成すれば良いという考え方では解決はできません。当社企業グループでは、「多様性の価値を創造する」「想いを込め、つくる責任を果たす」「公平で平等なダイバーシティの中で新しい価値を生む」をSDGsポリシーに掲げ、グループ全体、そしてお客さまと共に持続可能な社会を実現できるよう努めてまいります。

日本創発グループの取り組み

地球規模でのカーボンニュートラルの実現に向けて、当社企業グループでもSDGsの取り組みを強化しています。具体的には毎年のCO₂排出量の定期計測と共有、環境負荷削減に貢献できる商材の開発や販売をグループ全体で推進しています。

東京リスマチック株式会社では、非塩ビ・省プラ・エコインク的环境下に配慮したディスプレイ「ecopa(エコパ)」を2021年より販売しています。また販促商品の企画・製造・販売を行う株式会社リングストーンでは、環境対策素材「ECOポリング」を開発し、廃棄されてしまうお茶殻や卵殻を活用した製品をご提供しています。他にも、企業のSDGs浸透支援ツール「SDGsゲーム」「SDGs本」を提供する株式会社プレサイズ、間伐材を利用したノベルティの企画・制作・販売を行う関連会社のFRONTIER JAPAN株式会社など、各社が持続可能な社会実現に向け、課題に取り組んでいます。



環境配慮型サイン&ディスプレイサービス

ecopa



SDGs本



ブラシェル



間伐材ノベルティ





「笑顔が生まれるモノづくり」 想いをひとつにさらなる飛躍を目指して

本年4月より、筆記具開発を行う株式会社サカモトと、販促用カプセルマシンの企画・販促を行う株式会社あみューズが合併し、株式会社funboxが生まれました。「笑顔が生まれるモノづくり」をミッションに、両社のアイデアと実績を活かした新たな商材や企画をすすめています。

合併後は、グループ内での営業・生産部門で協業体制の強化、また製造に関しても、愛知県刈谷市の工場と同グループ企業でもある株式会社アプライズ(浜松市)と連携した2拠点体制が実現できました。コロナ禍によってイベントや販促物ニーズは一時的に落ち込んでいましたが、現在は新しい事業環境への対応により、コロナ前と同等の売上まで回復しました。今後、さらなる高みを目指し、採用強化と安定した製品供給体制を整え、事業を加速させてまいります。

ワクワク、うれしい、タノシイ！をキーワードとし、ユニークな文具・雑貨等をお客さまに提供しています。

【会社設立】
1958年10月
【事業所】
本社：
東京都港区芝2-1-28
芝アネックスビル7F
愛知本部：
愛知県刈谷市半城土町大原157
大阪支店：
大阪市西区南堀江1-4-19
なんばスミソウビル7F



株式会社funbox
代表取締役 林 基史

BARK IN STYLE

モデル事務所の枠を飛び越え エンタメ業界全体に新しい価値を創造する

本年4月より日本創発グループの連結子会社になりました。モデルエージェントとしてテレビや雑誌、ウェブなど国内外で活躍する130名ほどのモデルが所属しています。2008年にメンズモデルをメインとした事務所として創立し、現在までに数多くのトップモデルを輩出してきました。

当社は、ファッション領域だけに留まらず『人が映る媒体は全てクライアント』との考えから、モデルたちは幅広いジャンルで活躍しています。今期はプランニングラボDIVを立ち上げ、企画のご提案から制作までワンストップでご提案できるようになりました。社内に撮影スタジオを設置し、モデル事務所自ら仕事を生み出しています。今後もこのプランニングラボを中心に、新たな価値を創造しながらグループの強みを活かした連携をはかっていきます。

国内外のモデル・タレント・アスリートが所属するマネジメントオフィス。国内のみならず、ヨーロッパ、アジア諸国へのプロモーションを展開しています。

【会社設立】
2008年9月10日
【事業所】
東京都渋谷区神南1-15-1



株式会社パークインスタイル
代表取締役 三崎 勇祐



DIAMOND HEADS

データ分析だけでは見えてこない 心を動かすクリエイティブを創発する

1982年に創業した当社は、広告やウェブ制作を中心としたクリエイティブデザインを行なっています。日本創発グループの考える「ものづくり」への想いと、当社が築いてきた実績と想いが共鳴し、本年4月より日本創発グループの連結子会社になりました。

ここ数年、デジタルマーケティング技術の進歩によって誰もが手軽にクリエイティブに関われるようになりました。しかし、私たちが掲げる『そのクリエイティブは、心を動かすか。』の視点から考えると、世の中には心を動かすクリエイティブは少ないのが現状です。顧客の想いを形にするためにも、クリエイターの力は欠かせません。日本創発グループの持つソリューションと当社のクリエイティブを融合し、さらなるシナジー効果を発揮していきたいと考えています。

ジャンルを問わず効果的なコミュニケーションを設計するデザインカンパニー。クオリティの高い表現を追求し、クライアントと世の中をつなぎます。

【会社設立】
1982年4月1日
【事業所】
東京都港区南青山6-15-6



株式会社ダイヤモンドヘッド
代表取締役 横山 修一



ONE PUBLISHING

企画力・制作力・発信力を武器に、 魅力的なコンテンツソリューションを

当社は株式会社学研プラスと株式会社日本創発グループの共同出資会社として2020年7月に設立され、本年7月より日本創発グループの連結子会社となりました。前身は学研のメディアビジネス部門。GetNavi、TV LIFE、ムーなどの雑誌事業を承継、それらのIPとともに事業展開の多角化を推進しています。

今期は前期と比較し、増収増益で推移しています。特にソリューション事業においては、多くのクライアントに恵まれ、売上を伸ばしています。引き続きグループシナジーを活かし、ソリューション事業をさらに成長させていきます。社内異動・グループ内からの出向・中途採用などによりリソースを厚くすることで営業とクリエイティブ両面の体制を強化し、クライアントのニーズに対し応えていきます。

「TV LIFE」「ムー」を始めとする定期雑誌と、「GetNavi web」などのwebメディアを運営するパブリッシャー。

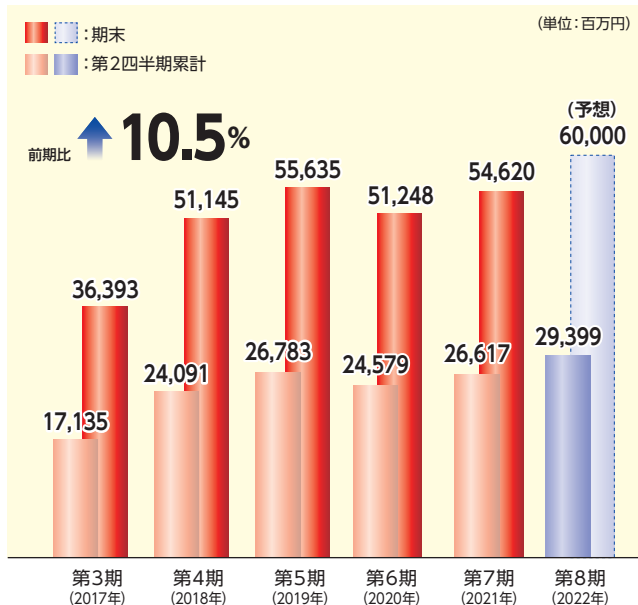
【会社設立】
2020年7月1日
【事業所】
上野オフィス(本社)
東京都台東区上野3-24-6
上野フロンティアタワー14F
芝オフィス
東京都港区芝2-1-28
芝アネックスビル8F



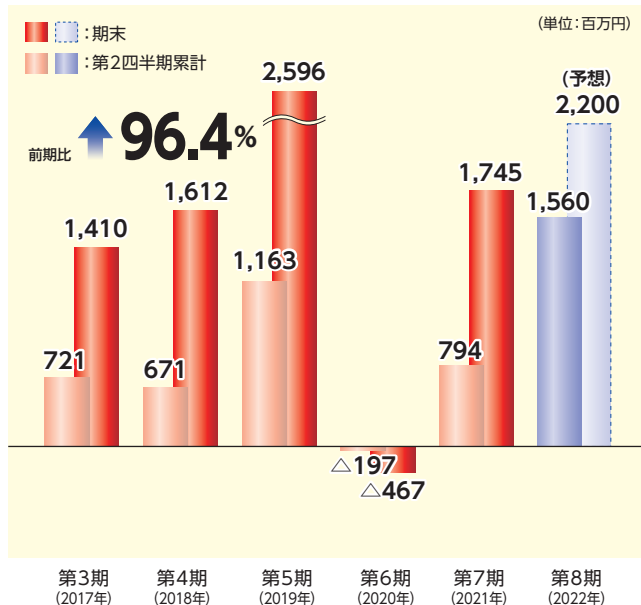
株式会社ワン・パブリッシング
代表取締役 廣瀬 有二

連結業績ハイライト

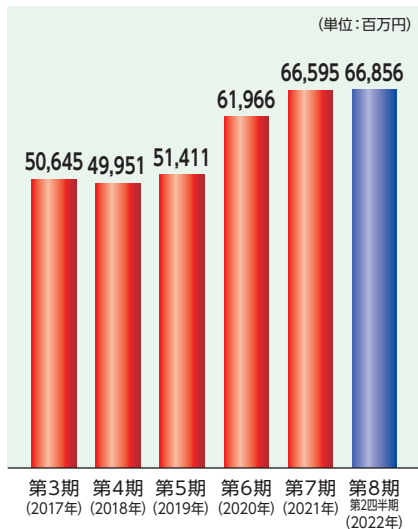
◆ 売上高



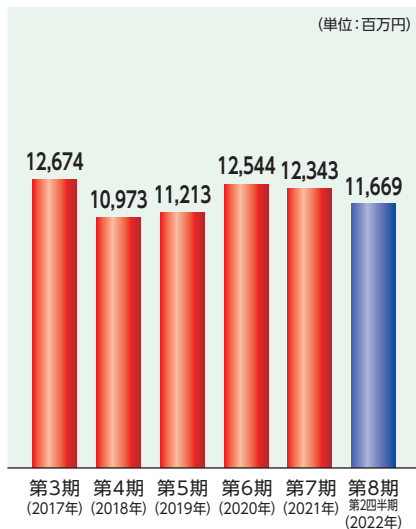
◆ 営業利益



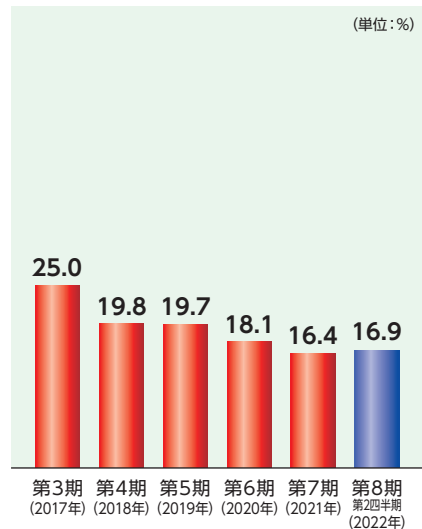
◆ 総資産



◆ 純資産

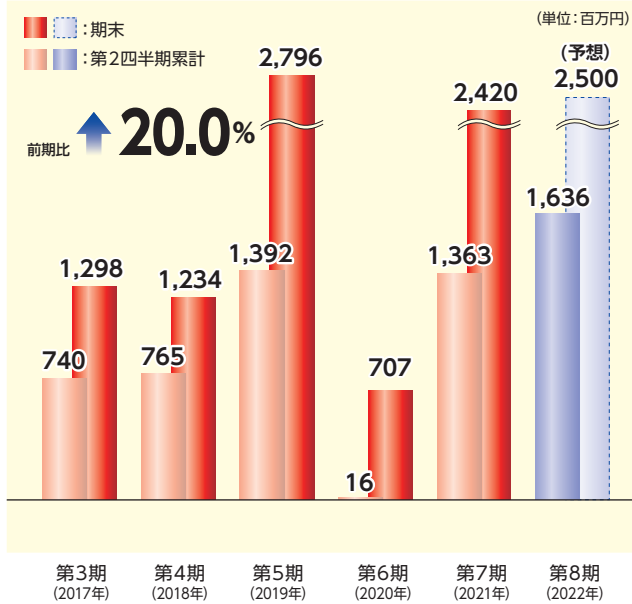


◆ 自己資本比率

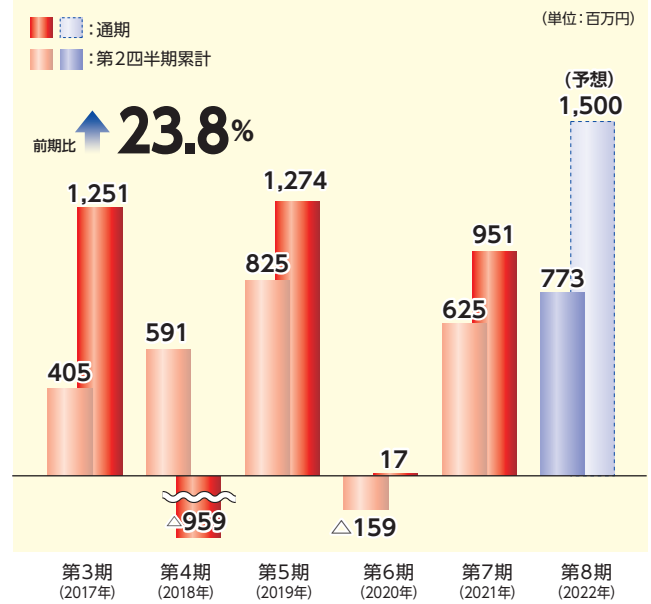


※ 第5期より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

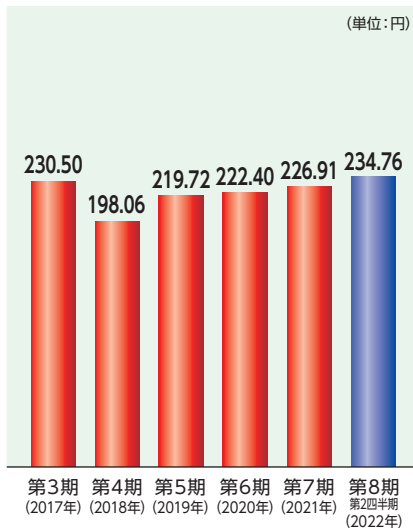
◆ 経常利益



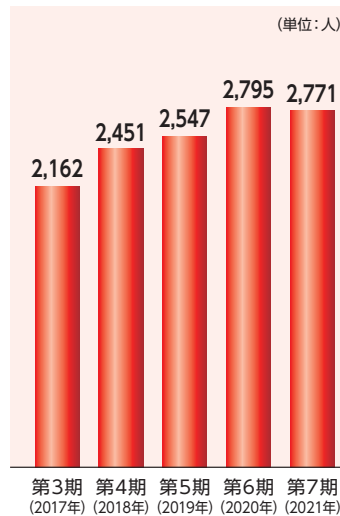
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



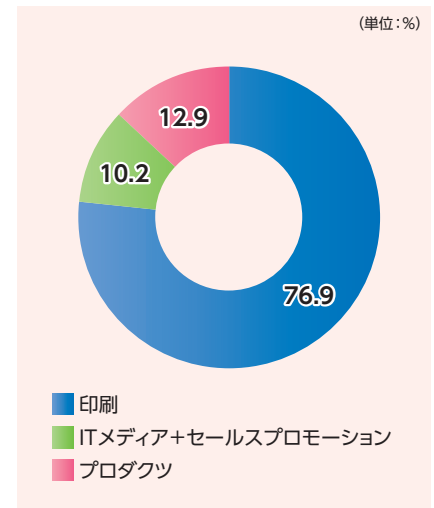
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。第1期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 売上構成比について、2022年8月29日 株主のみなさまにお送りしたもののから、一部数値を訂正させていただいております。

連結財務諸表

◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前 期		当 期		科目	前 期		当 期	
	2021年12月31日現在		2022年6月30日現在			2021年12月31日現在		2022年6月30日現在	
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	28,375	27,791	流動負債	39,877	40,095				
現金及び預金	12,231	11,245	買掛金	3,825	4,261				
受取手形及び売掛金	10,328	10,462	短期借入金	27,000	28,000				
短期貸付金	1,062	779	その他	9,052	7,834				
その他	4,753	5,303	固定負債	14,374	15,091				
固定資産	38,220	39,065	長期借入金	11,250	11,850				
有形固定資産	25,035	25,527	退職給付に係る負債	1,235	576				
建物及び構築物	6,341	7,794	その他	1,888	2,664				
機械装置及び運搬具	2,257	2,221	負債合計	54,251	55,187				
土地	14,583	15,153	(純資産の部)						
その他	1,853	358	株主資本	10,803	11,185				
無形固定資産	961	1,484	資本金	400	400				
のれん	127	233	資本剰余金	5,530	5,458				
その他	833	1,251	利益剰余金	6,725	7,179				
投資その他の資産	12,224	12,053	自己株式	△1,852	△1,852				
投資有価証券	4,588	4,975	その他の包括利益	143	140				
その他	7,635	7,077	累計額合計						
資産合計	66,595	66,856	非支配株主持分	1,397	344				
			純資産合計	12,343	11,669				
			負債及び純資産合計	66,595	66,856				

◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2021年1月1日から 2021年6月30日まで	2022年1月1日から 2022年6月30日まで
売上高	26,617	29,399
売上原価	19,208	20,792
売上総利益	7,409	8,607
販売費及び一般管理費	6,614	7,046
営業利益	794	1,560
営業外収益	820	594
営業外費用	251	519
経常利益	1,363	1,636
特別利益	179	315
特別損益	393	403
税金等調整前当期純利益	1,149	1,548
法人税等	470	749
非支配株主に帰属する当期純利益	54	24
親会社株主に帰属する当期純利益	625	773

◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2021年1月1日から 2021年6月30日まで	2022年1月1日から 2022年6月30日まで
当期純利益	679	798
その他有価証券評価差額金	104	△ 1
繰延ヘッジ損益	1	1
退職給付に係る調整額	△ 11	△ 14
その他	△ 64	8
その他の包括利益合計	28	△ 6
包括利益	707	792

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2021年1月1日から 2021年6月30日まで	2022年1月1日から 2022年6月30日まで
営業活動によるキャッシュフロー	3,001	1,525
投資活動によるキャッシュフロー	△ 6,021	△ 1,367
財務活動によるキャッシュフロー	740	△ 1,151
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,280	△ 991
現金及び現金同等物の期首残高	14,474	12,217
現金及び現金同等物の期末残高	12,194	11,226

◆ 連結株主資本等変動計算書 (2022年1月1日から2022年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資 剩 余 金	利 剩 余 金	益 剩 余 金	自己株式	株主資本 合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に 係る調整 累計額		
当期首残高	400	5,530	6,725	△ 1,852	10,803	132	△ 3	14	143	1,397	12,343
会計方針の変更による累積的影響額			△ 38		△ 38						△ 38
会計方針の変更を反映した当期首残高	400	5,530	6,687	△ 1,852	10,765	132	△ 3	14	143	1,397	12,305
当期変動額											
剰余金の配当			△ 265		△ 265						△ 265
親会社株主に帰属する当期純利益			773		773						773
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
連結子会社株式の取得による持分の増減		△ 80			△ 80						△ 80
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△ 7			△ 7						△ 7
持分法の適用範囲の変動			△ 16		△ 16						△ 16
持分法適用会社に対する持分変動に伴う増減		16			16						16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						9	1	△ 14	△ 3	△ 1,052	△ 1,056
当期変動額合計	-	△ 71	492	△ 0	420	9	1	△ 14	△ 3	△ 1,052	△ 636
当期末残高	400	5,458	7,179	△ 1,852	11,185	141	△ 1	-	140	344	11,669

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商号 株式会社日本創発グループ
英文商号 JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事業内容 傘下グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務
設立年月日 2015年1月5日
本社所在地 〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資本金 400,000,000円
決算期 12月31日
会計監査人 PwCあらた有限責任監査法人
取引金融機関 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数 2,771名(2021.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士 荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証券コード 7814
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式総数 55,271,736株
1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行
決算期 12月31日
定時株主総会 3月

■ 役員

代表取締役社長 藤田 一郎
取締役 鈴木 隆一
取締役 林 基史
取締役 菊地 克二
取締役 額賀 泰尾(社外)
取締役 監査等委員 瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員 野沢 佳津夫(社外)
取締役 監査等委員 寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員 篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員 菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員 儘田 佳代子(社外)
取締役 監査等委員 山下 あや(社外)
取締役 監査等委員 三好 真由美(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL: http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにととのプラスαを追求し続けます。

我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

①		②
③	④	
⑤		⑥
	⑦	⑧

- ①「第14回 販促 EXPO【夏】」に出展した際のブースの外観。(東京リスマチック株式会社)
- ②創立50周年を記念して制作した、シンボルマークとノベルティグッズ。50の数字をモチーフに、未来に向かって広がり、つながっていく道を表現しています。(株式会社ポパル)
- ③丸の内周辺の街並みを3DCGで精密に再現した都市データ「街バース」。ゲームやVR、メタバース空間など、さまざまなシーンでご利用いただけます。(株式会社キャドセンター)
- ④通巻500号を記念して「月刊ムー」が実施した、500分の生配信イベント「ムー感謝祭」。ムーポーズを取る三上丈晴編集長。(株式会社ワン・パブリッシング)
- ⑤フィオナ・クルーガーとTASAKIのコラボレーションウォッチ。アートディレクション、撮影、グラフィックとwebのデザインを担当。(株式会社ダイアモンドヘッズ)
- ⑥リサイクル、脱・省プラスチック、アップサイクルの3つのエコで、SDGsやプラスチックスマートへ貢献できるノベルティツール。(東京リスマチック株式会社)
- ⑦両国国技館のオフィシャルサイトを制作。デザイン及びフロント実装、CMS構築とWEBサイト制作に掛かる全工程を担当。(株式会社ソニックジャム)
- ⑧会社の実績を凝縮したニュースペーパー「パークナウ」。2021年飛躍したモデル5名を起用した表紙。(株式会社パークインスタイル)



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。